

# GREETING 挨拶

私の身のまわりで起きたこと、最近私が考えている事。

## 一年間のお礼と 新年のご挨拶

いつも、ありがとうございます。

2016年も残り約一週間となりました。  
皆様、いかがお過ごしでしょうか？

今年は、世界的に激動の一年でした。イギリスのEU離脱問題やアメリカのトランプ大統領誕生等、これから世界が大きく変わっていくことを予感させるニュースがたくさんありました。

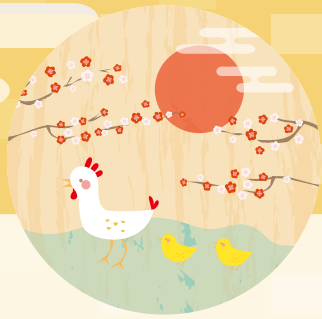
そんな中で、日本に住む我々も過去の常識や過去のらの延長線上で物事を考えていてはいけない時代が来ているように思います。

日本は既に、アジアで最も経済的に豊かな国であるとは言えません。一人当たりの名目GDPの値ではシンガポールや香港が上に行っています。

東南アジアの国々の経済発展は目覚ましく、各国の首都に行けば10年前、20年前とは全然違う景色が広がっています。

日本は豊かな国だから大丈夫と安易に考えていてはいけない時代がきているのではないのでしょうか？

事実として2010年から日本の人口は減り続けています。今まではずっと人口が増える中で日本は経済を発展させてきました。



どこの国も経済の発展に人口の増加は不可欠なのです。国連の世界人口予測によると、日本の人口は2050年に8000万人、2100年には4000万人にまで減ると予測されています。

一方アメリカは、現在の3億1000万人から2100年には4億6000万人まで増え続けると予測されているのです。

書けば書くほど暗い話題になってしまいますが、日本の財政もかなり厳しい状況になっています。

世界で類を見ないほどの借金を抱え、財務省の日本の財政関係資料（財務省のホームページから無料でダウンロードできます）を見ても、日本の財政は厳しいとハッキリと書いてあります。

確かに借金を上回る金融資産があることも事実ですが、だから安心とは言いきれません。

ここでは細かいことは書きませんが、常に危険を孕んだ状態であることは間違いありません。

そんな未来を見越して将来に備えている日本人はたくさんいらっしゃいます。

シンガポールやマレーシアをはじめ、海外に移住する人は増える一方です。

ある人はビジネスの為に、そしてある人は子供の教育の為に。

また英語の必要性を感じ、習得に励む日本人も増えています。



世界はどんどん身近になり、これからはより大きな視点が求められるのでしよう。

少し視野を広げて世界を見ていけば、日本という島国の中ではなかなか見ることのできない世界が見えます。

そんな視点を持つ大切さを感じる今日この頃です。

独立後、相続や事業承継の仕事に取り組む中で、出会う人や入ってくる情報が以前とは変わってきていることを実感しています。

それを活かして、より皆様のお役に立てる仕事ができればと考えています。

今年も、一年間本当にありがとうございました。  
そして、2017年もよろしくお願い致します。

体調には十分ご留意いただき、よいお年をお迎えください。

感謝!!